

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 1 9 年 1 1 月 2 9 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 5 5 0 2 5 2 5
法人名	医療法人 幸晴会
事業所名	第二こうせい苑グループホーム
所在地	八尾市中田 3 丁目 5 4 番地 2 6 号 (電 話) 0 7 2 - 9 2 5 - 7 8 3 3

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 1 月 1 3 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 1 0 月 2 0 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 12 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	14.8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4 2 , 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	約 2 2 , 0 0 0 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (2 5 0 , 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 1 , 4 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 1 0 月 2 0 日現在)

利用者人数	1 8 名	男性	2 名	女性	1 6 名
要介護 1	1 名	要介護 2	7 名		
要介護 3	5 名	要介護 4	2 名		
要介護 5	3 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 8 4 . 5 歳	最低	7 3 歳	最高	9 5 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人厚生医学会 厚生会第一病院、たかはら歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームです。「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に、安全で安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気で接しています。母体法人のクリニックと医療連携体制をとり、看護師のサポートが利用者と家族に安心感を与えています。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、眠剤の使用が減り、外出の機会が増えています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4) 自己評価は管理者と職員が話し合い意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	運営推進会議は八尾市の担当職員、民生・児童委員や高齢クラブ会長などの地域住民、家族、利用者の参加のもと 2 ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、ボランティアの受け入れ状況等について説明し、今後のホームと地域との交流の深め方や来年 2 月の地域の防災訓練への参加について話し合っています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	家族の面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。フロア毎に季刊誌を発行し、行事や生活状況について写真とともに家族へ報告しています。家族とは面会時にもできるだけ会話をし、家族の希望や願い、不満を表せるよう対応するとともに、意見箱も設置し、家族が意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3) 地元住民の好意で園芸を習い、差し入れてもらった季節の花の鉢植えや切り花が共用空間や食卓の上に飾られています。利用者は近隣の喫茶店や美容院に出かけ地元の人と交流したり、地域のボランティアから押し絵や体操を習ったり、ダンス教室に通う子どもの訪問を受け、演技を見て楽しんだりしています。運営推進会議を通じて地域住民とのネットワークができ、地域の行事の情報入手や参加の機会が広がります。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな 人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しまし よう」を理念として掲げ、利用者が家族、職 員、地域住民と共に生きながら、安全で安心 してその人らしい生活を続けられるよう支え ています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されていま す。毎月の全体会議やフロア会議、毎日の業 務を通じて管理者と職員は理念を共有し介護 サービスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	地元住民の好意で園芸を習ったり、差し入れ てもらった季節の花の鉢植えや切花が共用空 間や食卓の上に飾られたりしています。利用 者は近隣の喫茶店や美容院に出かけ地元の人 と交流したり、地域のボランティアから押し 絵や体操を習ったり、ダンス教室の子どもた ちの訪問を受け演技を見て楽しんだりしてい ます。運営推進会議を通じても地域住民との ネットワークができ、地域行事の情報を入手 し、参加の機会が広がりつつあります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、眠剤の使用が減り外出の機会が増えています。自己評価は、管理者と職員が話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は八尾市の担当職員、民生・児童委員や高齢クラブ会長などの地域住民、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、ボランティアの受け入れ状況等について説明し、今後のホームと地域との交流の深め方や来年2月の地域の防災訓練への参加について話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は八尾市の担当職員と相談したり、市が開催する講演会や事業者連絡協議会グループホーム分科会に参加したり、意見交換をして、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。フロア毎に季刊誌を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告もしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、意見箱も設置し、家族が意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この一年間の職員の離職率は高く、これに見合った新人職員の採用がありましたが、ベテラン職員の頑張りや新人職員のトレーニングの強化でその影響を最小限に抑え、ホームの運営は軌道にのり、利用者は落ち着いた生活ができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームの研修に対する取り組みは熱心で、法人主催の研修には資格取得支援研修があります。職員を認知症の実践者研修、八尾市や大阪認知症高齢者グループホーム協議会の外部研修に参加させるとともに、内部研修も行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市の事業者連絡協議会グループホーム分科会に参加し、地域のグループホームと交流するとともに、同一法人のグループホームとも相互研鑽しています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、研修会や意見交換会に出席してサービスの質を向上させていく取り組みをしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が家庭を訪問したり、利用者と家族がホームを見学したりしています。体験入居を行うことで馴染みの関係を作り、家族や利用者の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指しています。水彩画や押し絵の得意な利用者、手際よく食事の後片付けのできる寿司屋さんだった利用者、ベランダでの野菜作りが得意な利用者等、それぞれが得意な能力を発揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室で朝夕仏壇を拝んでいる利用者、日曜日の礼拝に家族と出かける利用者、図書館に出かけ図書やビデオを借りてくる利用者、近隣の美容院へ出かける利用者等、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、生き生きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや、心身の状況を把握し、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時は、その都度見直しを行っています。ケアマネジャーは日常の看護師、職員との会話や毎週行うケアカンファレンスの結果をもとに1ヶ月毎にモニタリングを行い、介護計画の見直しにつなげています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体法人のクリニックと医療連携体制をとり、クリニックの看護師により、利用者の状態に合わせ必要な看護を提供しています。必要により通院介助も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は母体クリニックの医師から医療を受けています。利用者や家族の希望により、以前からのかかりつけ医（医療機関）で引き続き医療を受けている利用者もいます。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に看取りを実施しています。現在も重度化した利用者家族の希望によりホームで医師、看護師とともに対応しています。しかし、さらに重度化した場合の対応については、ホームと家族や利用者、医師、看護師が話し合い、全員で方針を共有しながら対応していく予定です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面で取り決めを行っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。重度化している利用者の食事のタイミングや昼寝が欠かせない利用者等、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材業者が配達するシルバー食の生食材を使い、下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。月に2～4回フロア毎に特別食の日を決め、利用者の希望を取り入れたメニューで食事を楽しんでいます。ベランダで収穫した野菜を調理し楽しむこともあります。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週に3～4回ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中でそれぞれの役割を見つけ、家事を分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。水彩画や押し絵の得意な利用者、食事の後片付けを非常に手際よくできる利用者、ベランダでの野菜作りが得意な利用者、図書館に出かけ図書やビデオを借りる利用者等、利用者一人ひとりが得意な役割や気晴らしをして楽しむことへの支援を行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買物や周辺地域への散歩、近隣の喫茶店、ショッピングモール、図書館へ出かけたリ、気晴らしと実用を兼ね全員が近隣の美容院へ通ったりしています。季節の花見や遠足にも出かけ、その後は外食を楽しんでいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関前の道路が信号を避けるための迂回路になっており、自動車の交通量が多く事故も発生しているため、玄関のドアには鍵をかけています。	○	交通量も多く危険な状況にはありますが、利用者や家族への心理的拘束感を軽減するためにも、日中の可能な時間帯だけでも見守りの強化等を行うなど、安全面に配慮しながら、少しでも鍵をかけないようにする工夫が求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、民間企業の指導で通報訓練、消火訓練、避難訓練を行い、来年 2 月には市主催の避難訓練にも参加する予定です。災害時の食料と水については独自のマニュアルを定めて備蓄をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量について記録し、水分摂取量についても目標を定め記録をとっています。栄養バランスについては食材業者の管理栄養士からアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の外まわりには植木や季節の花、玄関内にも観葉植物や絵画があり訪ねやすい雰囲気になっています。明るくて広くゆったりとしたリビング兼ダイニングルームには食卓テーブルとソファのほか、牛乳パックで作られた手作りのソファやオルガンも置かれています。リビングには季節の花や大輪の菊の鉢植え、ちりめん細工の吊り雛、手作りの暖簾、綺麗な押し絵やパッチワークの手作り作品もあり、雑誌や新聞もさりげなく置かれ、家庭的で心が落ち着き、和める景観になっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者がそれぞれ整理ダンス、収納箱、鏡台、椅子、机、テレビ、マリア像、遺影、仏壇、装飾品、家族の写真、趣味の手作り作品や小物等、使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		